



議員 地域特有の課題の対応は

スクールバスなど地域課題の対応は

質問

迷惑施設がある地域への行政配慮、病院等の閉鎖施設の対応、スクールバスの現状と課題についてなど、地域特有

の課題と対応を伺う。

市長・教育長答弁

迷惑施設がある地域への行政配慮は、住民の意見を伺いながら、安全で安心な施設運営に努めることが重要と考える。
また、施設があることによ



信行 議員 3地域の新しい公民館の体制は

公民館体制のあり方等の見直しは

質問

新たな公民館の組織体制や専従職員の配置と人件費及び支館の管理運営費など、各見直し事項が円滑に移行され

るのか伺う。

教育長答弁

新しい公民館の組織体制は、公民館体制等検討委員会の答申を尊重し、現在、基本方針をまとめています。今後、各地区で開催する説明会などで市民の意見を聞いた後、議

り、住環境への不都合が生じないよう努める。

病院等の閉鎖施設の対応は、旧姫川病院の件では、破産管財人が管理していたが、不動産の競売入札者がいないことから、再び破産者へ帰属している。今後も動向を見守りたい。

スクールバスは、現在小学校5校で5路線66人、中学校3校で6路線207人を対象にスクールバスを運行している。

土、日、祝日の部活動等による登下校が課題と考えている。

会で審議し、新体制に移行したいと考えている。なお、移行は、3地域それぞれに新しい体制になることから経過措置を図り、混乱しないように対応したい。

また、新体制での地区公民館の専従職員は、全市統一の職員配置基準を定め、世帯数に応じた職員数を配置することとし、その人件費は、市が管理運営委員会へ補助金として交付したい。

管理運営費は、負担基準を定めて市が管理運営委員会へ委託料として支出したい。

人材育成と子育て支援について

質問

地元就職希望者向け修学資金貸付制度、子どもの海外派遣事業の貸付制度及び24時間保育体制について伺う。

市長答弁

地元就職希望者向け修学資金貸付制度は、医療技術者修学資金貸与制度により貸与している。
また、海外派遣事業の貸付制度は考えてないが、本年

市財政運営と事業推進のバランスは

質問

市行財政改革の市民への分かりやすい具体的推進策及び下水道管等埋設管の敷設経年数に応じた事前調査、取替工事計画の策定について伺う。

市長答弁

市行財政改革の市民への分かりやすい具体的推進策について、行政改革実施計画と事務事業評価により、適正な定員管理や事務事業の見直しな

度、外部委員の意見を聞き、より良い方向性を見いだしたいと考えている。

24時間保育は、本年3月策定した次世代育成支援行動計画の中でも、平成26年度までに夜間保育を1か所実施目標としているので、保護者の要望等を把握し、検討を進める。

《その他質問項目》

- ・福祉政策
- ・健康づくり

ど、行財政の効率化を図る。

下水道管等埋設管の敷設経年数に応じた事前調査、取替工事計画は、管の種類や耐用年数に応じ、緊急度や優先度を考慮し、取替えのための事業費を平準化して実施中である。

